

学術講演会

ダニエラ・ヴァシッチ准教授

(ベオグラード大学文学部東洋学科日本語・日本文学専攻課程)

「諸民族をつなぐ関連：

神話や民間伝承における竜殺しのモチーフ」

日時 2015年3月4日(水) 13:00-14:15

場所 埼玉大学教養学部棟会議室(二階)

講演趣旨

多くの比較文化研究が明らかにしてきたように、多くの民族のあいだには神話や説話、慣習やしきたりにかなりの類似点が存在します。これらの類似点は、文化的・歴史的にまったく異なる背景を持つ、地理的に遠い国々のあいだにも認められます。

有名な類似の一つとして、多くの国々の神話や民間伝承に見られる「竜殺し」のモチーフが挙げられます。ほとんどの話には共通した特徴があり、水辺を支配する巨大なヘビや竜、遠方から来た英雄、人柱として怪物に差し出された処女の救出、救出された処女との結婚などがそれです。

日本神話の英雄、スサノオ(建速須佐之男命)もまた、ヤマタノオロチ(八岐大蛇)を退治し、クシナダヒメを助けます。一方、セルビアの説話にも、少女を救うために竜と戦うという点で類似した英雄が存在します。このような類似はどこから来るのでしょうか?

この度、セルビアの日本文学研究者ダニエラ・ヴァシッチ先生をお招きし、古事記とセルビア説話の対比という興味深い視点からご講演いただきます。わが国の古典が世界でどのように読まれているかを知るための貴重な機会です。専門的研究者に限らず、広く古代・中世文学にご関心のある方々を歓迎します。(使用言語・英語、通訳有り)

講師紹介 ダニエラ・ヴァシッチ。ベオグラード大学文学部東洋学科・准教授。古代日本文学・比較文化研究。とくに比較文学・比較文化論的アプローチを主にしている。近著『月姫：口承と文書のなかの古代日本文学』(2013、セルビア)はベオグラード大学教員による最優秀モノグラフ(2013年度)として表彰された。研究以外でも、多くの日本文学をセルビア語に翻訳している。『古事記』の翻訳で日本翻訳家協会の翻訳特別賞を受賞。他にも『竹取物語』や芥川龍之介、森鷗外などの翻訳がある。

※この講演会は学術振興会「外国人招へい(短期)事業」及び科学研究費「世界文学と人文教育」の一環として行われますが、一般学生、教職員、地域の方々にも公開して行われます(予約不要)。

連絡先：埼玉大学教養学部ヨーロッパ・アメリカ文化専修 野中進

電話：048-858-3042

メール：nonaka@mail.saitama-u.ac.jp